

研究課題：映像制作を用いた人文学的教育に関する整備発展

本研究は、(a) 上田学、長谷川弘基、中山文、宇野文夫の各ゼミの教員と有志学生が協働した映像制作・批評、(b) 上田ゼミによる地域を題材とした映像制作、という二つの実施目的のもとづき、今年度の計画を遂行した。

(a) については、2020 年度の研究推進費採択課題「映像制作を用いた人文学的教育に関する基盤整備」を継続、発展させたものである。具体的には、宇野ゼミによる作曲・演奏（宇野文夫作曲・演奏「即興 12/1, 2020」、北原翼作曲・北村美咲演奏「絵本のサンタクロース」、北原作曲・長山恵太演奏「宵狸の馬鹿し合い」、北原作曲・富永裕太演奏「夏の影」、北原作曲・高田颯士演奏「明石の目印担当の日常」）の音源、および中山ゼミの演劇上演（山本幸作・演出「夏に揺れる、淡藤色と」、佐藤柁季作・演出「絵本のサンタクロース」、森川都武作・演出「宵狸の馬鹿し合い」）の映像を素材とし、上田ゼミの有志学生（大倉颯生、菅原結香、園田さくら、兵庫仁美、渡邊周輝、渡邊悠太）が編集をおこない、映像作品として完成させた。さらに、長谷川ゼミ主催による合評会を 12 月 21 日に実施し、合同ゼミによる開かれた発表の機会により、学生の学習意欲を向上させる教育効果が確認された。

(b) については、第一に兵庫県内をロケ地とした映画作品の一部を、上田ゼミがグループ・ワークにより再現した。具体的には、6 月に神戸、元町、ポートアイランド、舞子、宝塚で、8 作品（『透明人間現わる』『風の歌を聴け』『べっぴんの町』『ブラック・レイン』『阪急電車 片道 15 分の奇跡』『オオカミ少女と黒王子』『フォルトゥナの瞳』『アルキメデスの大戦』）の一部を再現するロケーション撮影を実施し、武田峻彦氏（神戸芸術工科大学・助教）の指導のもとで編集を進め、再現映像として完成させた。その上で、12 月 9 日に本学経済学部 林隆一ゼミと、オンライン公開による合同ゼミを開催し、制作した再現映像および関連する調査内容を発表した。

第二に、上田ゼミの有志学生により、オリジナル映像作品の制作が着手された。具体的には、予定されている学生の卒業研究の内容に関連して、フィクション、ドキュメンタリー、アニメーション、ミュージック・ビデオ、ストップ・モーションの 5 つのテーマにもとづくグループ・ワークを進め、映像の撮影（作画）・編集を実施した。また、ミュージック・ビデオの素材となる歌唱・演奏、および宇野ゼミによる作曲・演奏（宇野作曲・演奏「即興 12/7, 2021」、宇野作曲・山本春華演奏「おもいで 01」）を、映像作品のための音源として 12 月 7 日に録音した。制作中の映像作品は、2022 年度に引き続き編集をおこない、完成させた上で、長谷川ゼミ主催による合評会が開催される予定である。

このような共同研究の成果により、(a) に関するゼミ横断型の人文学的教育の有効性、および (b) に関する学生を対象とした映像制作教育の発展性、という当初の実施目的は、おおそ達成できたものと評価される。

また本共同研究で整備された 3 号館 4 階の映像制作環境は、人文学部教員が希望する場合に、授業で利用可能な状態になっており、実際に非共同研究者のゼミによる映像制作もおこなわれている。ただし利用ルールについては、早急に策定を進めるものとする。